



令和5年度 紫雲寺中学校グランドデザイン

教育目標 『知性・自主・実践・協調』

知性を磨き、自主自立の精神を高め、たくましい実践力を養い、協調して社会に貢献する人材を育成する

重点目標 人権感覚・望ましい社会性(自己有用感、他者と協力して課題解決する力)の育成
確かな学力(思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性)の育成

目指す学校:『個のよさを生かす活力ある学校』

- 違いを認め合い、ともに育ち合う学校
- 失敗を糧に成長し、自信と意欲を高める学校
- かかわりを通して、自己有用感を高める学校

知

目指す姿:「分かった!できた!」を実感し、

自ら進んで学ぶ生徒

- (1) 「分かる喜び」を実感できる授業づくり
 - ① 「主体的・対話的で深い学び」の実現
 - ・「新発田市授業スタンダード」の徹底
 - ・ICTを活用した指導の工夫
 - ・学年部・教科部の相互参観による授業力向上
 - ② 各教科等の指導・評価計画の工夫改善
- (2) 家庭学習習慣確立に向けた取組
 - ① 授業とリンクさせた家庭学習課題の提示
 - ② 学習計画の指導と意欲を高める見とりの工夫

徳

目指す姿:互いに認め合い、高め合う生徒

- (1) 支え合いながら活動し、認め合う場の設定
 - ① 各行事等における学級・学年内や異学年交流での場の設定
 - ② 授業や学級活動等における協働の工夫
- (2) 「考え、議論する」道徳の実践
 - ① 指導・評価計画、指導方法・指導形態の工夫
 - ② 家庭・地域と連携した道徳教育の推進
- (3) 人権教育、同和教育の充実
 - ① 「生きるIV」の活用
 - ② 職員研修の充実

体

目指す姿:主体的に健康づくりに取り組み、生活リズムを整えた生活ができる生徒

- (1) メディア利用時間を1日2時間以内とする取組
 - ① メディアコントロール週間の設定(各学期1回)
 - ② 特別活動(生徒会活動、学級活動)と連携した生徒の主体的な取組の推進
- (2) 「早寝・早起き・朝ご飯」啓発活動

全校体制の特別支援教育 ～一人一人を大切にする教育～

地域連携 ・「しばたの心継承プロジェクト」を中核とした活動の推進
・保小中連携 ・地区育成協、地区商工会、PTA 等 との連携